

第20回景況調査報告書

1 調査概要

小田原箱根商工会議所では、管内商工業者の最新の景況感や経営状況を把握し、今後の当会議所の諸施策等に資するため、会員各位の協力を得て平成20年8月下旬に郵送してこのアンケートを実施した。

今回は、会員3,013社(前回 3,085社)を対象に調査を行い、1,068社から回答を得た。回答率は35.4%(前回 35.6%)となり、前回より0.2ポイント下回った。

調査の結果は、DI(Diffusion index、業況など項目ごとに半年前および半年後と比べ、プラス要素の比率からマイナス要素の比率を差し引いた数値)により示している。

	全体	小田原市			箱根町
		計	中心市街地	中心市街地以外	
調査対象	3,013	2,554	1,011	1,543	459
回答者数	1,068	924	359	565	144
回答率	35.4	36.2	35.5	36.6	31.4

2 調査結果の概要

要約

◎ 景況感は3期連続の悪化。先行きもさらに悪化の見通し

- 前々回調査で改善傾向に陰りが見え今回調査でも前回に引続き7.0ポイント低下しマイナス63.5と悪化。
- 先行きも前回より11.3ポイント低下のマイナス54.7と大幅な悪化の見通し。
- 業種別増減では、飲食業のみ好転、建設業、不動産業、製造業が大幅悪化。
- 地区別では、全地域が悪化。

【総合】 業況判断DIは、半年前調査より7.0ポイント低下しマイナス63.5であった。

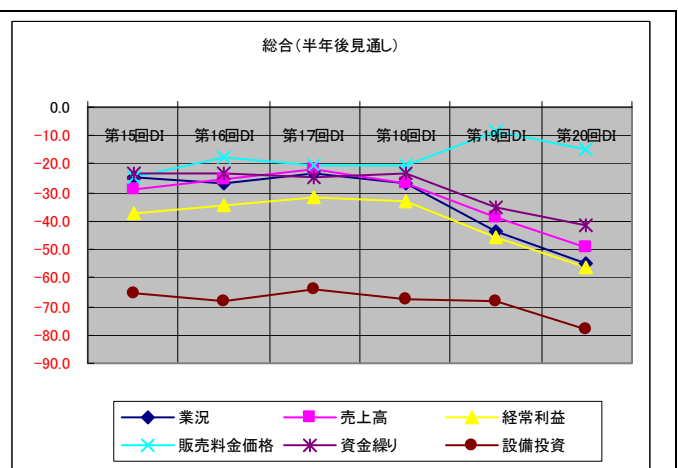
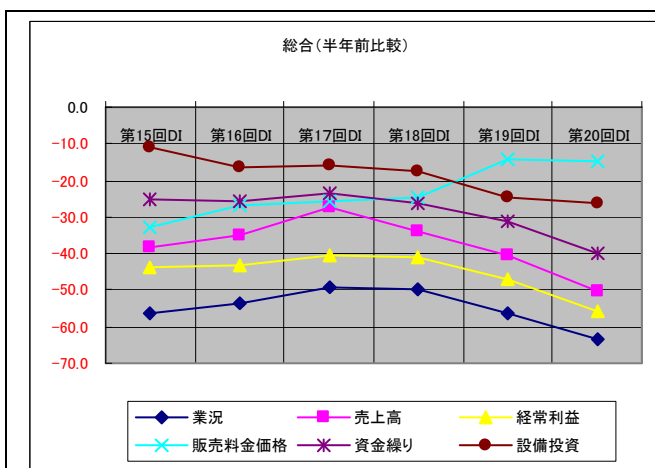
前々回調査で連続改善に陰りが見られ、今回も前回に引き続き悪化し、先行も大幅な悪化の見通しである。

経営状況は、売上高DIが10.1ポイント低下と大幅に悪化し、経常利益DIも8.9ポイント低下と悪化した。これに加えて資金繰りDI(マイナス8.8ポイント)、在庫DI(マイナス2.8ポイント)、設備投資DI(マイナス1.8ポイント)、販売価格DI(マイナス0.6ポイント)などが悪化した。

一方、正規雇用DIが2.4ポイント、雇用パート・委託DIも1.9ポイント好転している。なお、在庫DIが2.8ポイント低下したものの第12回調査から連続プラスで推移している。

半年後の業況見込は、半年前より11.3ポイント低下のマイナス54.7と大幅な悪化の見通しである。

経営見通しとしては、売上高DIが10.5ポイント、経常利益DIも10.7ポイント低下の大幅な悪化見通しである。これに加えて設備投資DI(マイナス10.1ポイント)、資金繰り在庫DI(マイナス6.3ポイント)、販売価格DI(マイナス6.0ポイント)、在庫DI(マイナス3.5ポイント)、正規雇用DI(マイナス3.3ポイント)などが悪化の見通しである。一方で雇用パート・委託DIが0.5ポイント改善の見通しである。なお、在庫DI、正規雇用DI、雇用パート・委託DIの3項目が第12回調査から連続プラスで推移の見通しである。



**【業種別】・業種別業況DIでは、飲食業のみが改善し、建設業、不動産業、製造業が大幅な悪化。**

**・不動産業、交通運輸業は第17回調査から4回連続悪化。**

**・製造業、卸売業、土産品小売業、サービス業は前々回より3回連続悪化。**

- ・業況DIで改善したのは、飲食業(3.9ポイント上昇)だけであった。一方、建設業(15.1ポイント低下)、不動産業(11.2ポイント低下)、製造業(10.3ポイント低下)の3業種が大幅に悪化し、ホテル旅館業(7.2ポイント低下)、小売業(7.1ポイント低下)、交通運輸業(3.8ポイント低下)、土産品小売業(3.0ポイント低下)、サービス業(1.9ポイント低下)、その他の業種(1.9ポイント低下)の6業種が悪化であった。
- ・売上高DIでは、飲食業(13.6ポイント上昇)が大幅に改善をしている。一方、不動産業(20.4ポイント低下)、建設業(19.2ポイント低下)、製造業(12.7ポイント低下)、ホテル旅館業(11.4ポイント低下)、土産品小売業(10.3ポイント低下)の5業種が大幅に悪化している。
- ・経常利益DIでは、全業種悪化し、土産品小売業(33.3ポイント低下)、不動産業(22.1ポイント低下)、建設業(15.3ポイント低下)の3業種が著しく悪化している。
- ・販売料金価格DIは、土産品小売業(18.4ポイント上昇)、飲食業(14.2ポイント上昇)の2業種が大幅な改善であった。一方、サービス業(8.4ポイント低下)、交通運輸業(7.9ポイント低下)の2業種が小幅な悪化であった。

業種別業況判断DIランキング

1位	ホテル・旅館	-48.8	5位	卸売業	-57.9	9位	小売業	-67.0
2位	土産品小売業	-50.0	6位	飲食業	-58.2	10位	交通運輸業	-67.4
2位	その他の業	-50.0	7位	サービス業	-60.6	11位	建設業	-77.0
4位	不動産業	-56.4	8位	製造業	-62.3			

**・半年後の業種別業況DIは、交通運輸業のみ改善の見通し。**

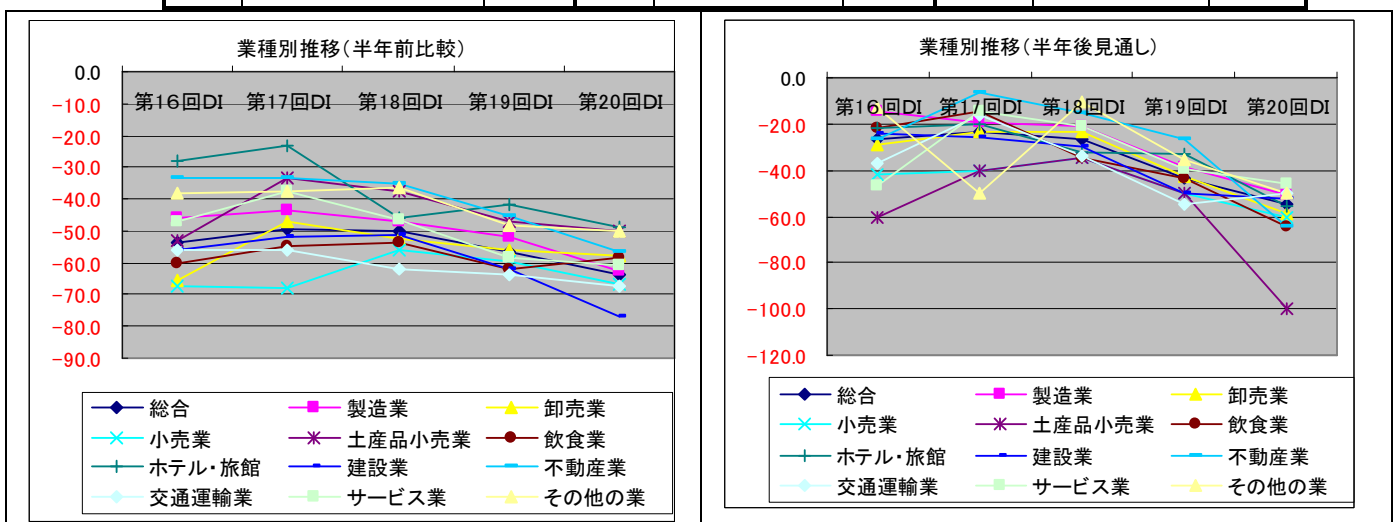
**・悪化の見通しが著しいのが土産品小売業、不動産業、ホテル旅館業、飲食業、卸売業、その他の業種、製造業。**

**・悪化の少ないのが建設業、サービス業、小売業。**

- ・業況DIで改善見通しは、交通運輸業(4.6ポイント上昇)だけであった。一方、土産品小売業(58.8ポイント低下)、不動産業(37.9ポイント低下)、ホテル旅館業(22.4ポイント低下)、飲食業(21.0ポイント低下)、卸売業(15.9ポイント低下)、その他の業(14.6ポイント低下)、製造業(12.0ポイント低下)の6業種が著しい悪化を見通し、小売業(9.8ポイント低下)、サービス業(6.8ポイント低下)、建設業(2.0ポイント低下)の3業種が悪化見通しである。
- ・売上高DIでは、サービス業(0.6ポイント上昇)のみが改善見通しである。一方、土産品小売業(33.1ポイント低下)、交通運輸業(22.5ポイント低下)、不動産業(22.3ポイント低下)、卸売業(21.4ポイント低下)、ホテル旅館業(17.8ポイント低下)、飲食業(16.3ポイント低下)、製造業(11.7ポイント低下)の7業種が著しい悪化の見通しで、建設業(8.4ポイント低下)、小売業(5.9ポイント低下)、その他の業(3.7ポイント低下)の3業種が悪化の見通しである。
- ・経常利益DIでは、全業種悪化し、土産品小売業(33.8ポイント低下)、ホテル旅館業(27.1ポイント低下)、不動産業(22.5ポイント低下)、交通運輸業(19.9ポイント低下)、卸売業(16.9ポイント低下)の5業種が著しく悪化の見通しである。
- ・販売料金価格DIは、土産品小売業(18.4ポイント上昇)、小売業(3.8ポイント上昇)、飲食業(2.0ポイント上昇)の3業種が改善の見通しある。一方、ホテル旅館業(21.5ポイント低下)、製造業(18.7ポイント低下)、不動産業(15.9ポイント低下)、交通運輸業(14.6ポイント低下)の4業種が大幅な悪化の見通しをしている。

業種別業況判断DI見通しランキング

1位	サービス業	-45.9	5位	建設業	-52.3	9位	不動産業	-64.1
2位	交通運輸業	-50.0	6位	ホテル・旅館	-55.8	10位	飲食業	-64.2
2位	その他の業	-50.0	7位	卸売業	-58.9	11位	土産品小売業	-100.0
4位	製造業	-50.8	8位	小売業	-60.0			



## 【 地 区 別 】

### 地区別業況DIでは、全地域が悪化。

・小田原市中心市街地以外は前々回に改善が陰り、前回に引続き悪化したものの、業況が一番の地区である。

・箱根町は前々回に連続改善が陰り、前回に引続き悪化し、業況が二番の地区になった。低下のポイントは最も大きい。

・小田原市中心市街地は前回に引続き悪化し、業況が第16回以降連続して悪化で一番悪い地区である。

・小田原市中心市街地の業況DIは、前回から7.0ポイント低下しマイナス66.0で一番悪い地区である。

半年後の業況DIは、12.0ポイント低下の大幅な悪化見通しである。

・小田原市中心市街地以外の業況DIは、前回から4.3ポイント低下しマイナス62.1でも一番良い地区である。

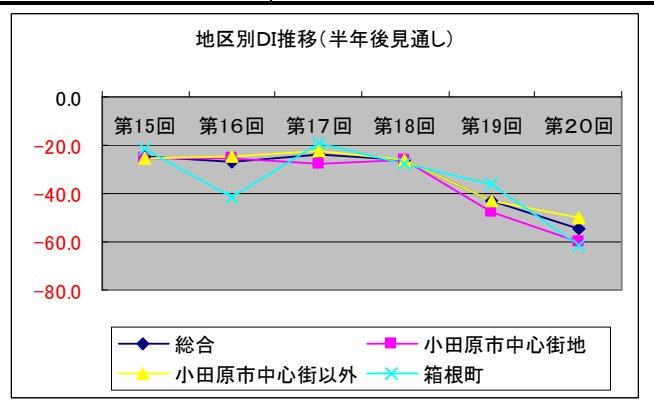
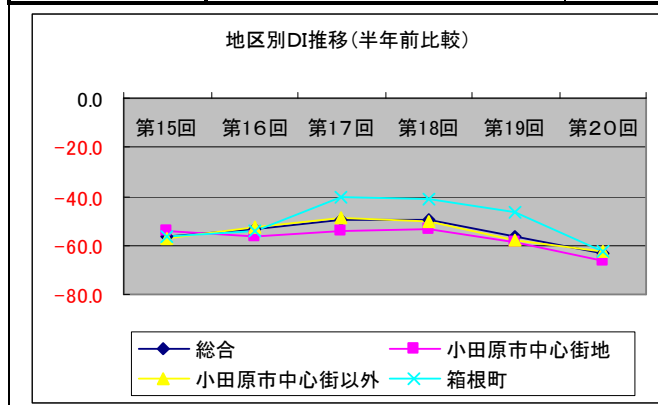
半年後の業況DIは、6.6ポイント低下の悪化見通しである。

・箱根町の業況DIは、前回から16.0ポイント低下しマイナス62.5と大幅に悪化で二番目の地区となった。

半年後の業況DIは、25.3ポイント低下の著しい悪化見通しである。

### 地区別の業況判断D I

	小田原市中心市街地	小田原中心市街地以外	箱根町
業況判断D I	-66.0	-62.1	-62.5
上位D I	土産品小売業 ( 0.0) ホテル旅館業 ( 0.0) サービス業 (-56.2)	土産品小売業 (100.0) ホテル旅館業 ( 0.0) その他の業 (-42.9)	製造業 (-25.0) その他の業 (-37.5) 飲食業 (-42.9)
下位D I	交通運輸業 (-83.3) 製造業 (-78.6) その他の業 (-75.0)	建設業 (-75.9) 小売業 (-69.2) 交通運輸業 (-59.4)	交通運輸業 (-100.0) 土産品小売業 (-100.0) 建設業 (-89.5)



(財)神奈川県産業振興センターの中小企業景気動向調査(平成20年9月18日発表)では、神奈川県全体業況(マイナス46.8)、足柄上・西湘地区業況(マイナス55.4)である。当会議所調査業況(マイナス63.5)は神奈川県全体、足柄上・西湘地区より景況感が悪い結果になっている。

半年後の業況見通しでは、神奈川県全体業況マイナス54.0、足柄上・西湘地区業況マイナス64.1に比べて、当会議所調査業況(マイナス54.7)は、神奈川県全体とほぼ同じで、足柄上・西湘地区景況感より良い見通しである。

以上

※なお、詳細な調査結果をお知りになりたい方はお問い合わせください。

問合せ先 小田原箱根商工会議所中小企業相談所  
担当電話番号 0465-23-1811